

イノシシ・アライグマ・ハクビシン・ タヌキ・アナグマなど

中型動物の被害対策

奥州市の野生鳥獣による農作物被害として、シカ、クマ、カモシカ等の大型動物によるものが従来でしたが、近年、イノシシを筆頭に、ハクビシン、アライグマ、タヌキなどの中型動物による被害も増加しております。

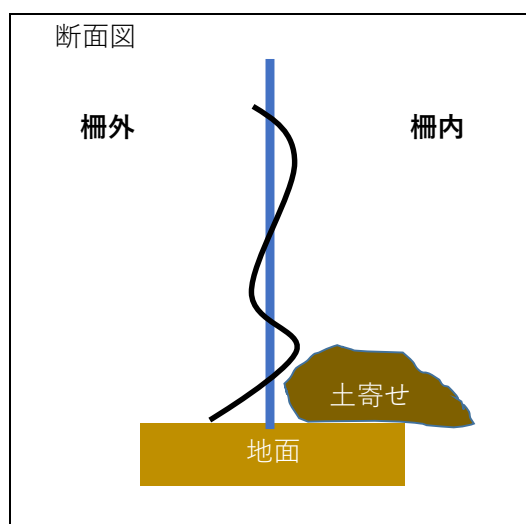
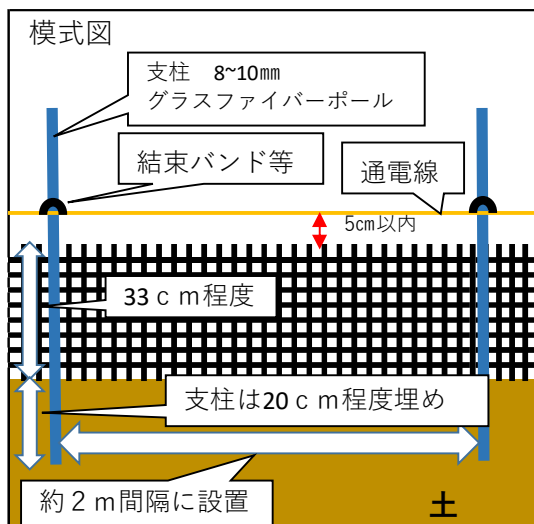
対策としては、電気柵の設置が非常に有効ですが、電気柵は高価で、維持管理が大変というイメージがある方もいると思います。そこで、①管理作業への支障が少なく、②低コストで、③設置に時間がかからず、④移動が簡単な柵として、数ある防止柵の中から実証実験用に埼玉県農業技術研究センターが開発した楽落（らくらく）ネットによる獣害防止柵「**楽落（らくらく）くん**」の設置及び撤去作業を調査しました。

1. 特徴

「登る」のが得意なアライグマやハクビシン、「掘る」のが得意なタヌキやアナグマの両タイプに対し、絶妙な高さの柵で感電するよう誘導します。普段通っている場所に何か障害物が出来ると、動物が危険なものか確認する「探査」行動を逆手に取った電気柵です。

2. 必要資材（100m設置する場合の目安）

①楽落ネット	2 巻
②グラスファイバーポール（直径 8～10 mm）	60 本
③結束バンド	200 本
④通電線	100 m
⑤電気柵本体	1 台



詳しい設置方法については以下を参照（外部リンクにつながります）

<http://www.pref.saitama.lg.jp/b0909/documents/rakuraku-manyuaru-ver2-5.pdf>

3.設置実証

身近なホームセンターで購入できる資材で実際に設置してみました。

設置農地の外周が217mであるため、250m分の資材を以下の通り準備しました。資材費の合計は約10万円、400mを囲う場合は約12万円となるようですので、大きく囲った方が費用は割安になるようです。

購入資材

① 楽落ネット (50m)	× 5 巻	49,900 円	
② 園芸用ポール (25 本)	× 4 個	12,720 円	
③ 碍子 (がいし)	× 200 個	11,600 円	
④ 電気柵本体	× 1 個	19,980 円	
⑤ 通電線 (200m)	× 2 個	4,760 円	
⑥ 危険表示版	× 2 個	796 円	合計 99,756 円



設置は電気柵の設置経験が全くない、三十代の男性2名、四十代の男性1名、合計3名で行いました。



土寄せまでは行いませんでしたので、設置のみの経過時間は凡そ

1時間40分！！

不慣れな作業であったため、余計な時間がかかりましたが、次はもっと短縮できそうです。



通電線の高さが 33 c m 程度のため、**楽々跨げてしまいます！**

撤去にかかった時間は凡そ **40 分** と設置時間の半分以下という結果でした。

今回の実証実験の結果としては、管理作業への支障が少ないかまでは検証できなかったものの、ホームセンターで購入できる資材のみで、低コストで、設置が比較的楽に、移動が簡単な防護柵を設置できるということが分かりました。設置を検討している方は、参考にいただければと思います。

電気柵の設置事業補助については以下のページを参照ください（リンク先が開きます）

<https://www.city.oshu.iwate.jp/soshiki/55/4302.html>